



「切る」「抜く」工業用特殊刃物 ～ 更なるニーズに挑戦 ～

株式会社 塚谷刃物製作所
代表取締役社長 塚谷 俊哉

「切る」「抜く」という工業界において最も基本的で不可欠な作業ツールが、カッティング・エッジ（工業用特殊刃物）です。ツカタニは、日本を代表するカッティング・エッジのトップメーカー。

1951年に創業し、熱処理から機械加工までの一貫生産体制をいち早く確立、高品質の製品を市場に供給してきました。

現在では、ビジネスフォーム刃（コンピュータ帳票用刃物）、トムソン刃（紙器・段ボール用刃物）、ピナクルダイ（シール・電子部材用刃物）の3つの製品分野でトップシェアを獲



八尾本社



ピナクルダイ

得。欧米の先進企業とも積極的に技術提携や業務提携を行い、グローバルな視野で品質・技術の向上に取り組んでいます。

ツカタニが追求するのは「高品質」「高精度」「高付加価値」、そして「低コスト」「短納期」です。これからも、あくなき情熱を持って「切る」可能性と「抜く」可能性の限界に挑み続けていきます。

「ピナクルダイ」は、(株)塚谷刃物製作所の登録商標です。

株式会社 塚谷刃物製作所

〒581-0814

大阪府八尾市楠根町5丁目30番地

TEL.072-996-8770（代表）

FAX.072-996-8777

URL: <http://www.tsukatani-hamono.co.jp/>



ATAC
ひと言

中小企業の専門教育 ATACが指導できる専門分野シリーズ

その1 「材料」

中小企業の弱みは人材の層が薄いことです。数十名の企業の技術スタッフは数名以内が通常の姿ではないかと思えます。この人たちは有能であるとは言え、これだけの人数で多くの工学の専門分野を網羅することは不可能です。

従来からの仕事の継続には知識に不足はなくても、新しい製品開発や新製造プロセスの開発となると。これまで扱っていなかった専門分野が必要になります。このときの緊急の対策は、コンサルタントの助けを借りる、大学・研究機関の智恵を借りるなどですが、仕事が終わるとまた元の状態に戻ってしまいがちです。

そこで、技術スタッフにより広い専門分野の知識を習得してもらってより高度な活躍をしてもらおうと、ATACでは専門教育を指導する事業を行っています。

未曾有の経済危機の今こそ、技術スタッフを少数ながらも精鋭にすることが要求されていると考え、改めてATACが指導できる専門教育を

ご紹介するシリーズを始めることにしました。

まず第1回目として、「材料」を取り上げます。

「中堅・中小企業へのATAC提言集(5) 材料選択の手引き」では、金属、セラミックス、プラスチックを取り上げています。このうち、例えば金属だけ、それも鉄鋼材料だけ、或いは金属材料全般など、いずれにも対応可能です。金属では特に状態図、金属組織、熱処理、強度など特性と並んで、力が掛かったときの材料の変形と破壊などを重点に材料選択に役立つ基礎知識を指導します。

今後順次ご紹介しますが、「設計」など既に「ATAC提言集」として出版しているテーマの他に、ATACメンバーの広範囲の専門性を生かしてご要望にお答えできます。

「ATAC提言集」はATACホームページ <http://www.atac.ne.jp/> をご覧下さい。

(池田)